



やるきほんききさき 木佐木

神奈川県議会議員
日本共産党

2025.1.22
木佐木ただまさ news
発行：党横浜北東地区委員会
横浜市鶴見区潮田 3-147-6
TEL：045-511-1021

Profile
▶1984年山梨県出身
▶鶴見区馬場在住
▶神奈川大学法学部卒
▶よこはま健康友の会会長
▶横浜東民商顧問

卑劣な痴漢行為を絶対に許さない

1月15日、山添拓参議院室の呼びかけで、18、19日に行われる大学共通テスト（かつてのセンター試験）を前に受験生を狙った痴漢対策を求める要請を、国会議員団と首都圏の都県議団連名で関係省庁に行い、私も参加してきました。



は犯罪」であることの駅構内や電車内での広報強化。3. 目撃者や第三者が被害を止められるような取り組みを重視していくこと。4. 被害者の相談など支援強化。5. 痴漢被害によって共通テストに遅刻する場合も追試など救済措置の対象となることや私服で受験できることを周知すること。6. 10代が特に被害にあっていることを認識し、学校教育で包括的性教育を進めること。

などを要請しました。

要請には、内閣府、法務省、文部科学省、国土交通省、警察庁が参加してくれ、この間の取り組みや改善点について報告を受けました。

その中で特にこの間の要請による前進を感じたことは、18、19日それぞれ3300人の警察官が痴漢対策として駅などに動員されたことやJR東日本からも痴漢対策の取り組みがされるなど例年以上の取り組みになっていると報告されたことでした。

痴漢は人生を左右する重大犯罪

これまで、減るもんじゃなしなど痴漢に対してその被害を非常に軽く見る社会だったと私自身も大いに反省をしています。被害者の尊厳を踏みにじり心に深い傷を負わせる犯罪として決して容認しない決意のもとに、関係機関と対策を進めていきたいと思ひます。

SNSにあふれる受験生への痴漢宣言

近年、SNSに痴漢被害を受けても試験に遅れられないために被害申告をしにくい、受験生を狙うという痴漢加害者側の発信が増えてきています。



そのため、毎年神奈川県議団としても神奈川県警に対して痴漢取り締まり対策の強化を求めています。

強化された対策を発信するとそのことを残念がる痴漢の返信が寄せられています。（左写真：大山団長のXのポストより）

今年は3300人の警官が動員

こうした実態や各県の取り組みとその限界を国に伝え、国としても大きな構えで対策に乗り出すことを求めました。

具体的には、1. 痴漢や盗撮加害を起こさせない公共交通機関の対策強化。2. 鉄道事業者による「痴漢